

第 25 章

災害及び事故

第 25 章 災害及び事故

水稲被害

平成 16 年における府内の水稲被害の概況は、被害面積 10400ha、被害量 1650t、被害率 5.3%で、前年に比べ被害面積は 4800ha (31.6%)の減少となり、被害量は 55.3%の減少となった。

労働災害

平成 16 年における府内の労働災害による死傷者数は、死者が 87 人、負傷者(休業4日以上)と合わせて 9637 人で、前年より 746 人の減少となった。

産業別にみると、製造業での死傷者が 2606 人で全体の 27.0%を占め最も多く、以下、建設業 1757 人(構成比 18.2%)、陸上貨物運送業 1369 人(同 14.2%)の順となっている。最も多い製造業の中では、金属製品製造業が 826 人と大きな割合を占めている。

火災

平成 16 年における府内の火災件数は、前年より 166 件減少し 3820 件(前年比 4.2%減)、死傷者は 89 人減少し 736 人(同 10.8%減)となっており、損害額は 14 億 8695 万円減少の 59 億 4358 万円(同 20.0%減)であった。

月別では、7 月の 365 件(構成比 9.6%)が最も多く、次いで 3 月の 355 件(同 9.3%)の順になっている。

地域別では、大阪市地域が 1459 件(構成比 38.2%)で最も多く、次いで泉北地域 488 件(同 12.8%)、北河内地域 459 件(同 12.0%)となった。

発火源別にみると、「たばこ・マッチ」が前年と比べ 135 件減少し 1580 件(前年比 7.9%減)で最も多く全体の 41.4%を占め、次いで、

「都市・プロパンガス関係」が 9 件増加し 576 件(前年比 1.6%増、構成比 15.1%)となっている。

また、平成 16 年度末現在の府内の防火対象物数は、前年より 1761 棟増加し 24 万 7149 棟(前年比 0.7%増)となった。

交通事故

平成 16 年における府内の交通事故発生件数は、6 万 7593 件(前年比 1.8%増)、死者 313 人(同 7.6%増)、負傷者 8 万 1392 人(同 1.5%増)となった。

事故発生の主原因者となった第一当事者別では、車両関係 6 万 5143 件、歩行者 72 件、不明 2378 件となっている。

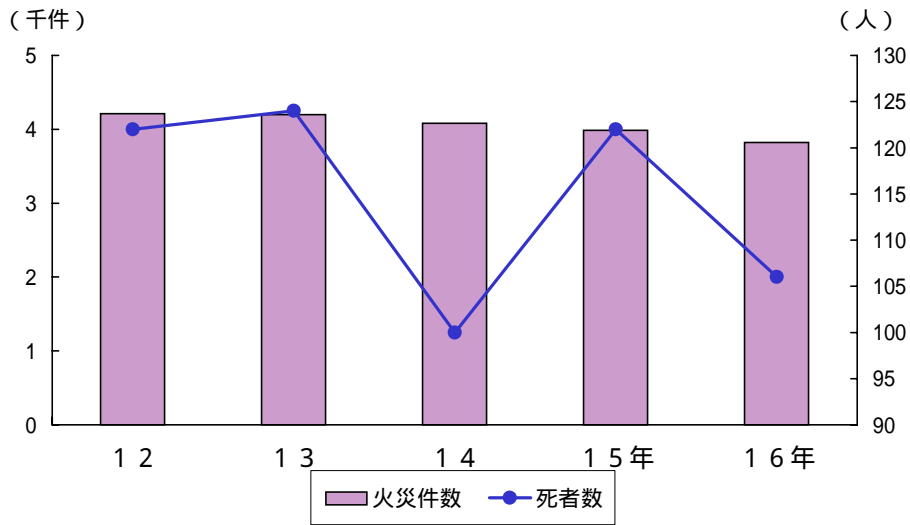
このうち車両関係を車種別にみると、普通乗用車が 3 万 3661 件と 51.7%を占め最も多く、以下、普通貨物自動車 8157 件(構成比 12.5%)、軽乗用車 7190 件(同 11.0%)、軽貨物自動車 6033 件(同 9.3%)、原付(50cc 以下)4822 件(同 7.4%)の順となっている。

また、法令違反別にみると、安全不確認 3 万 241 件(構成比 46.4%)、前方不注意 1 万 1035 件(同 16.9%)、動静不注視 7618 件(同 11.7%)の順となっている。

一方、歩行者関係の事故件数は、第一当事者及び第二当事者合わせて 5262 件で、死者 94 人、負傷者 5359 人となっており、横断中の事故が 3033 件と全体の 57.6%を占めている。

なお、全国の交通事故発生件数は、95 万 2191 件(前年比 0.4%増)でこれを都道府県別にみると、東京都の 8 万 4513 件(構成比 8.9%)が最も多く、以下、大阪府 6 万 7593 件(同 7.1%)、神奈川県 6 万 3113 件(同 6.6%)の順となっている。

火災件数と死者数の推移



交通事故件数と死者数の推移

